

～ トーク & コンサート ～
 『それでも生きる意味はある』
 を開催します

可茂人権擁護委員協議会

人権週間（令和6年12月4日～10日）に合わせて加茂郡坂祝町で人権トーク&コンサートが開催されます。シンガーソングライターの南修治（みなみしゅうじ）さんが出演されます。

会場 坂祝町中央公民館（坂祝町黒岩1260番地1 0574-26-7151）
日時 令和6年12月7日（土）
開場・受付 13時00分
開会 13時30分
閉会 15時00分
 （入場無料・整理券不要、自由にご来館ください。）

■南修治氏のプロフィール

1957年名古屋市生まれ。24歳より、岐阜県恵那市の山の中で手作りの生活を始める。

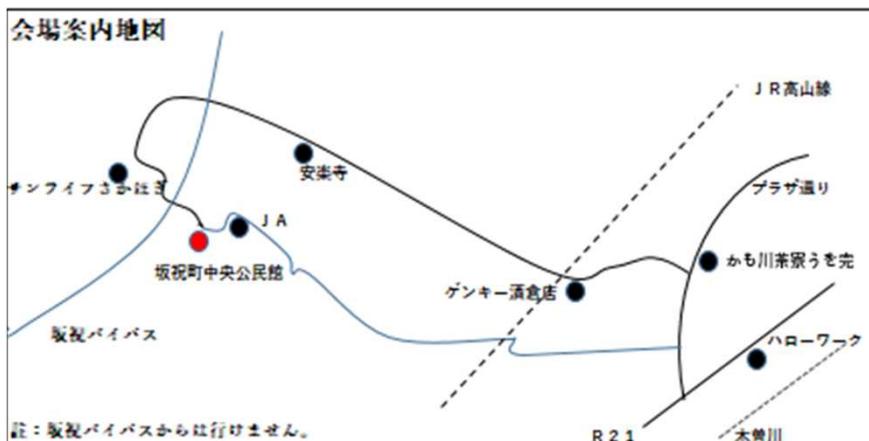
1995年頃より不登校、ひきこもりの若者の支援を始め、心のケアにもあたり、カウンセラーとして活動する。これらの活動や手作りの生活のことを歌に託して全国各地で講演コンサートの活動を2015年病気になるまで続けてきた。両親の介護を目的に名古屋に戻ってくると同時に原因不明の痛みと身体症状に襲われ、午後からはほぼ寝たきりとなり、日常生活の多くに助けが必要な要介護生活となる。そんな中でも歌を作り続け、支援する側と支援をもらう側の両方を経験しながら音楽に深みが与えられる。

2021年4月に痛みの原因が判明し、新しい治療を受けたところ、痛みが消え、すべての症状がなくなり、6年近く続いた午後から寝たきり生活から解放される。これらの経験をもとに、困難に直面しても生きることの意味を見つけ出すことは可能とし、「何があってもだいじょうぶ」、「存在することがすばらしい」をテーマに音楽活動を再開する。

これまでにCDアルバム13枚、エッセイ集や子育て支援本など10冊の著作があるが、最新作のCDは闘病中に作ったものである。

著書 山は誰のもの（リサイクル文化社）・心ゆたかに歩きたい（リサイクル文化社）・心抱きしめて（ぼんちわーく出版） 他多数

CD もしも愛が僕のもんなら、山は誰のもの、生まれ変わる時、幸せになろうよ
 愛ひとつあれば、だいじょうぶだからね、生きるために、ぼくがうたにかわるとき
 新しくされた言葉とうた 他多数



問合せ先

坂祝町 窓口税務課
 0574-26-7111